

幸せ便り



まいちゃんは、預かりさんが正式に家族にしてくださいました。日々のまいちゃんを綴ったブログは、大人気！ワガママでマイペースなまいちゃんを大切に育ててくれました。フーテンのまいちゃんからおしとやかなまいちゃんになっていくようすは、ブログを見てね！



横浜市
渡辺まいちゃん

毎年数十万頭もの犬や猫が殺処分される現実を知り、「一匹でも命を救えたら」そう思い始めたものの、我が家は転勤族で社宅住まい、動物を飼うのは困難です。しかし、当時は借り上げ社宅でたまたまペット可の住居だったこともあり、短期なら預かれる、そういう判断して一時預かりを始めることに。引き渡し当日。待ち合わせ場所にやってきたまいはかなりの怯えっ子、ガタガタと震え目を合わせようとしません。抱きしめようと腕を伸ばすと何やら冷たいものが手に…、恐怖のあまりおもらし？をしたようです。「う～ん、これは大変かも…大丈夫だろうか」会うなり不安に襲われてしまいました。初めての預かり、しかも夫は大反対（借り上げとはいえ社宅なので）、そして想像以上の怯えぶり…。不安は的中。連れて帰ったものの、ひたすら震えて近づこうとしません。もちろん散歩もままなりません。とにかくあらゆるものに怯えて立ち止まります。歩行者、自転車、犬、猫、子供…。リードも慣れておらず引っ張り放題、抱っこして連れ帰ることもたびたび。

それでも何とか2ヶ月が過ぎようとしたころ、まさかの転勤辞令。予想では1~2年後だったので大変ショックでしたが、辞令から転居まで10日ほどしかなく、うろたえている暇はありません。「まいを会に戻す？」「やっと慣れつつあるのに、ここで手放したら、この子はさらに人間不信になるのでは…」夫と一緒に相談して決断、連れて行くことに。しかし社宅で犬は飼えないので、とりあえずペット可の住宅を自分たちで探さねばなりません。何とか見つかり、無事に引っ越しを済ませたものの、生活は一変。今治はのんびりした田舎で何とか散歩もできたのですが、新居の周辺は車一台がやっと通れるほど狭い道が入り組んでおり、そこをたくさんの自転車、車、バイクなど行き交う交通戦争状態、歩くのも一苦労。転居早々、無駄吠えをするようになりました。犬や猫・車と遭遇する頻度が増え、しかも相手は至近距離、怖くて仕方がないようです。



まいちゃんのブログ

<http://blogs.yahoo.co.jp/koterinta>

そんな中おこった脱走事件。転居からまもなく、私の不注意で締め忘れた扉の隙間から出て行ってしまったのです。すぐに追いかけましたが、マンションの建設現場に入ってしまい見失ってしまいました。作業を中断してもらい作業員の方にも探してもらいましたが見つかりません。日暮れまで探しわりましたが、結局見つかりませんでした。その後も手作りビラを配って探しわり、夫も仕事から帰宅後に深夜まで自転車で捜索の日々、夜になると「今ごろどうしているかな？」と、まいが寝ていた布団を見るたびに涙がこぼれる日々。そうして一週間がすぎたころ、一本の電話が。「ビラの犬と良く似た子がいるんですけど…」ちょうど日曜だったので夫とともにかけつけると、そこにはまぎれもないまいの姿が。思わず涙があふれ、声を詰まらせ近づくとまいはブイっと顔を背けたまま。「あれ、お宅のワンちゃんじゃなかった？」保護して下された方は、まいが私たちを見ても喜ばないので別の犬だと勘違いされたようです。「いいえ、確かにうちの子です、でも一緒に暮らしてまだ日が浅いものですから」兎にも角にもまいが見つかりました。まいはそっけない態度でしたが、この時のうれしさと言ったらありません。お礼を言って連れて帰ると、汚れきった体のまま家の中を走りまわり、ベッドの上でゴロンゴロン。こんなふうに暴れたことはかつてありません。「うちに帰れてうれしいのかな？」対面したときは、怒られると思ってそっけない態度を取っていたかもしれません。すぐシャンプーをして翌日には病院で検査をしてもらいました。体重が500グラムくらい減っていたものの、体調には問題がないことを確認。ホッと一息です。そしてまたいつも通りの日々が始まったのですが…散歩に出るととにかく吠えまくる、その癖はなかなか治りませんでした。ですがもっと頭を悩ませたのは、一緒に暮らして一年が経とうとしているのに、全く私たちを好きになってくれないこと。目を合わせようとしない、近づくと逃げる、触るとビクッとおののく、ご飯と散歩の時間以外は私たちのいない部屋で寝てすごす、呼んでもこない、すぐにお腹を見せるけど、自分から近づいてくることはまずない…一体どうすれば心を開いてくれるだろう。散歩に出るとしつけの行き届いた犬とその飼い主さんに話しかけ、「どういう訓練をされましたか」と尋ねる日々。



お散歩
大好き！

パパさん、
大好き！



そんなある日、公園で一組の犬と飼い主さんに出会いました。聞くとそのゴールデンは「事情で飼えない」と飼育放棄された犬。その飼い主さんは弓引き取った当初は、散歩に出ると引きずり回され、ケガやトラブルが絶えなかったそうです。そんな過去が信じられないくらい、今は落ち着いています。そして何より、飼い主さんを心から信頼している様子が伝わってきます。「どんな訓練をされましたか？」ぜひ、その先生を紹介してください！」そうして訓練が始まりました。訓練を受け始めて、犬の扱いについていかに無知だったかを知りました。実家で犬の飼育経験があり、犬を良く知っているつもりでしたが、可愛がり方は知っていても、正しい扱い方を知っている訳ではありません。「心の傷が大きすぎて、もう二度と人間を好きになれないんじゃないかな」当時の私は、まいが心を開いてくれないことを、恥ずかしながら、まいの責任にしていました。しかし、それは間違いました。犬の態度は飼い主次第だったのです。その証拠に訓練を受け始めてから、まいが少しずつ私たちとの距離を縮め始めたのです。

まいが心を閉ざし続けることに対して「まいはきっと理解してくれる。諦めたら駄目だよ。」そう言い続けた夫。最初は預かりに猛反対でしたが、まいと根気よく向き合い、1年前からまいの朝の散歩を引き受けてくれている夫には感謝しています。まいが我が家に来て二年が過ぎました。今では、毎朝夫を「散歩の時間だよ！」と起こしたり、ぬいぐるみを咥えてきて「遊ぼうよ！」とはしゃいだりと我が家に笑顔をもたらしてくれています。まいちゃん、我が家に来てくれてありがとう。これからもどうぞよろしく！最後になりましたが、えひめイヌ・ネコの会の皆さま、素敵なお出会いを授けていただきありがとうございました。